

高知県が推進する「協働の森づくり事業」におけるパートナーズ協定を締結
「土佐山 オンワード“虹の森”」の森林保全活動を展開!

株式会社オンワードホールディングス(本社:東京都中央区 代表取締役会長兼CEO:廣内 武)は、CSR活動の一環として、高知県が推進する「環境先進企業との協働の森づくり事業」について、高知県(知事:尾崎正直)、高知市(市長:岡崎誠也)及び高知市森林組合とパートナーズ協定を11月14日(金)に締結し、高知県高知市の森林約45ha「土佐山 オンワード“虹の森”」の保全活動を行います。

本来、森林は適性に整備を行うことでCO₂の吸収や水源涵養などの公益的機能が維持されます。しかし、近年は安価な外材の大量輸入や後継者不足などが加速し、森林は十分な管理・保全がなされていない状態です。

この事業は、日本一の森林率(84%)である高知県が、「森林の再生」と「交流の促進」を目指して2005年度に創設しました。高知県と市町村(森林組合)、企業の3者がパートナーズ協定を締結し、企業と地域とが協働で手入れの行き届いていない森林の再生に取り組む活動です。

当社グループは、生活文化企業として豊かな人間生活づくりに貢献するとともに、「地球環境の保全」を経営の重要な課題として捉え、人と環境に優しい企業を目指しています。これまで、商業水洗い可能なエコロジー商品『WT(ウォータートリートメント)スーツ』の開発や、完全循環リサイクルユニフォーム『アース・ユニ』の開発、また、当社日本橋本社・名古屋支店・仙台支店・札幌支店の各ビルで国際規格ISO14001の認証を取得するなどの環境保全に積極的に取り組んできました。

「協働の森づくり事業」への参加は、これらのCSR活動の一環として取り組んで行きます。なお、同協定の締結は当社で34件目となりますが、アパレル業界としては初めての協定事例になります。

森のネーミングは、当森林保全活動の窓口となるオンワード榎山広島支店内に選考委員会を設置し、当社グループの社員を対象に公募をしたところ、139件の応募がありました。高知県の県央に位置する土佐山地区の森から、世界で事業活動を行っている当社グループの拠点に向けた虹の架け橋となることを願い、「土佐山 オンワード“虹の森”」に決定しました。

今後は、地域の方々のご協力のもと、当社グループ社員による間伐を始めとした森林再生活動を行うとともに、この森を通じて地域住民との交流を深めていきます。

■協定の概要

協定森林の名称	「土佐山 オンワード“虹の森”」
協定森林の所在地	高知県高知市土佐山東川イボ滝1172-1他
協定森林の広さ	45.4ha(樹種:スギ73%、ヒノキ27%)
協定期間	2008年11月14日～2012年3月31日
協賛金	総額300万円